

ELECOM

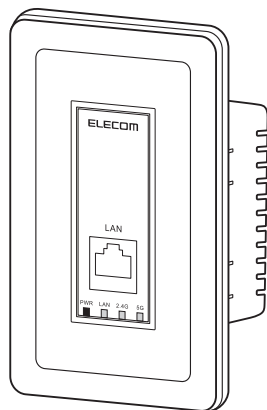
Wireless Access Point

法人向け情報コンセント型無線アクセスポイント

11ac/a/n通信対応
11n/g/b通信対応

WAB-S1167P
WAB-S300P

User's Manual



このマニュアルは、別冊の「クイックセットアップガイド」とあわせてお読みください。

※本マニュアルは「WAB-S1167P」「WAB-S300P」の共通マニュアルとなっております。一部表記が実際の表記と異なる場合があります。実際の表記と置きかえてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用 語	意 味
本製品	無線LANアクセスポイント「WAB-S1167P」「WAB-S300P」を「本製品」と表記しています。
11ac/11a/11n/11g/11b	IEEE802.11ac規格を「11ac」、IEEE802.11a規格を「11a」、IEEE802.11n規格を「11n」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
無線AP	「無線LANアクセスポイント」を略して「無線AP」と表記しています。
無線親機	無線ルーター、無線APを総称して「無線親機」と表記しています。
無線子機	無線LAN機能を内蔵したパソコン、無線アダプターを取り付けたパソコン、無線コンバーターを接続した機器などを総称して「無線子機」と表記しています。また、無線アダプター、無線コンバーターそのものを「無線子機」として表記している場合があります。

●このマニュアルで使われている記号

記 号	意 味
 注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTP サイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名 / 社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および TM は省略させていただきます。
- 本製品は、GNU General Public License に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundation が定めた GNU General Public License の条件に従って、これらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思われそうですが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行いません。詳細については、弊社ホームページを参照下さい。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、弊社ホームページを参照下さい。尚、配布時に発生する費用は、お客様のご負担になります。

法人向け情報コンセント型無線アクセスポイント

11ac/a/n 通信対応 **WAB-S1167P**

11n/g/b 通信対応 **WAB-S300P**

User's Manual

ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、エレコム法人向け情報コンセント型無線アクセスポイント 無線 LAN アクセスポイントをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

■本製品を正しく安全に使用するために

- ・お客様及び他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ本製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前に個の注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、**必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。**

本製品は、人命にかかわる設備、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全にお使いいただくために」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警 告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
 注 意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
	丸に斜線のマークは何か禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。
	塗りつぶしの丸マークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

 警 告**万一、異常が発生したとき。**

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

**異物を入れないでください。**

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。

**落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。**

感電、火災、故障の原因となります。

**水気の多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはおやめください。**

感電、火災の原因となります。

**分解しないでください。**

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。

分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。

 注 意**通気孔はふさがらないでください。**

過熱による火災、故障の原因となります。

**高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。**

屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

**本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。**

ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



本機器に接続する LAN ケーブルには電機が流れていますので、端末加工を行う場合には必ず給電機器の電源を抜いてください。

無線 LAN をご使用になるにあたってのご注意

- 無線 LAN は無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線 LAN をご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線 LAN を使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。
- セキュリティ対策の為、工場出荷時より設定された各種 ID やパスワードは任意の値に変更することを推奨します。
- 本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。
 - ・本製品を分解したり、改造すること
 - ・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
 - ・本製品を日本国外で使用することこれらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線 LAN システムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。
- 電子レンジの近くで本製品を使用すると無線 LAN の 2.4GHz 通信に影響を及ぼすことがあります。
- 2.4GHz 帯使用の無線機器について
本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の調理器具・産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、弊社サポートセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
 3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。
- 電波法により W52、W53 を屋外で使用することは禁止されています。

もくじ

安全にお使いいただくために	4
Chapter 1 概要編	9
1 製品の保証について	10
2 サポートサービスについて	11
エレコムネットワークサポート	11
3 本製品の概要について	12
本製品の特長	12
本製品の動作環境	13
4 各部の名称とはたらき	14
各部の名称とはたらき	14
Chapter 2 導入編	17
1 本製品を設置する	18
本製品を壁面に取り付ける	18
2 本製品と設定用パソコンを接続する	21
Chapter 3 詳細設定編	23
1 設定ユーティリティ画面について	24
設定ユーティリティ画面を表示する	25
設定ユーティリティの設定画面	27
設定メニューの内容	28
2 無線設定	29
基本設定	29
詳細設定	31
MAC フィルタ	32
クライアント	33
3 セキュリティを設定する(無線の暗号化)	34
セキュリティ	36
4 システム構成メニュー	39
システム情報	39
LAN 側 IP アドレス	41
LAN ポート	43
VLAN	44
ログ	46
Syslog サーバー	47
5 ツールボックスメニュー	48
管理者	48
日時	50
設定を保存 / 復元	52
初期化	54
ファームウェア更新	55
節電	56
再起動スケジュール	58
LED 設定	60
再起動	61
Chapter 4 ファームウェア更新手順	63
1 ファームウェア更新	64
ファームウェア更新	64
Appendix 付録編	67
1 基本仕様	68

Chapter 1

.....

概要編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証とご使用にあたっての注意について記載した文書「安全にお使いいただくために」が付いています。

●保証期間

保証期間はご購入の日より3年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については「安全にお使いいただくために」をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、ご購入の販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、「安全にお使いいただくために」に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

[P11「2 サポートサービスについて」](#)をお読みください。

2 サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

エレコムネットワークサポート

エレコムネットワーク法人サポート

サポート（ナビダイヤル）0570-070-040

月～金 9：00～12：00、13：00～18：00

※夏期、年末年始、特定休業日を除く

※PHS・一部のIP電話からはご利用いただけません。お手数ですがNTTの固定電話（一般回線）や携帯電話からおかけくださいますようお願いいたします。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行なっておりません。
This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- ・弊社製品の型番
- ・ネットワーク構成
- ・ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）

※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

3 本製品の概要について

本製品の特長

●壁面に埋め込み設置

壁面に埋め込んで設置・運用できるため、場所をとらずスッキリとした設置が可能です。

●最新規格「11ac」採用 &Wi-Fi 認証取得

無線は最新規格 IEEE802.11ac 対応で、近年標準となりつつある有線ギガバックボーンをフル活用できる最大 867Mbps (WAB-S1167P) (5GHz・規格理論値) を提供します。

11ac 対応無線 LAN 子機との接続で、干渉の少ない 5GHz での超高速スループットを実現、業務効率を大幅に向上できます。

また、5GHz と 2.4GHz の同時通信に対応し、最新の 5GHz 対応の無線機器に加え、従来の 2.4GHz 対応の無線機器も同時に接続可能です (最大同時接続台数 WAB-S1167P: 50 台 (2.4GHz: 25 台、5GHz: 25 台)、WAB-S300P: 25 台 (2.4GHz のみ))。最新規格への移行と既存の無線 LAN 機器の活用を実現します。

Wi-Fi 認証を取得しているため、様々な機器と安心して接続できます。

●PoE 受電機能搭載

PoE 受電機能に対応。PoE を使用するので、近くに電源がなくても LAN ケーブルだけで電源を供給でき、効率的にネットワークを構築できます。

※ 本製品は PoE による受電専用のため、必ず PoE 給電可能な HUB などの機器と併せてご利用ください。AC アダプター等でのご利用はできません。

●マルチ SSID 機能搭載

1 台の無線アクセスポイントで複数の SSID を管理する「マルチ SSID」に対応、様々なセキュリティポリシーを 1 台で実現するため、SSID ごとに認証および暗号方式を設定できます。WAB-S1167P では最大 10 個の SSID (2.4GHz: 5 個、5GHz: 5 個)、WAB-S300P では最大 5 個の SSID (2.4GHz のみ 5 個) を設定可能です。

●節電スケジュール機能を搭載

無線 LAN を使用頻度が低い休日のオフィスなどで、自動的に無線や LED を OFF にする節電スケジュール機能を搭載。手間なく省エネを実現します。

本製品の動作環境

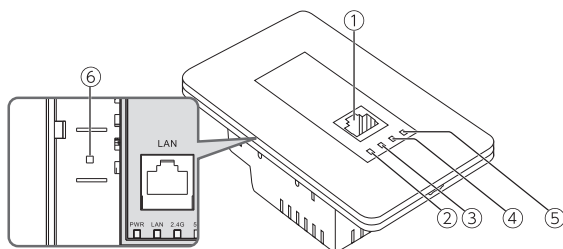
弊社では以下の環境のみサポートしています。

対応ブラウザ (Web設定ユーティリティ)	Internet Explorer 8以降 Chrome ver.23以降 Firefox ver.17以降 Safari ver.5以降 Microsoft Edge 20以降
--------------------------	---

4 各部の名称とはたらき

各部の名称とはたらき

正面

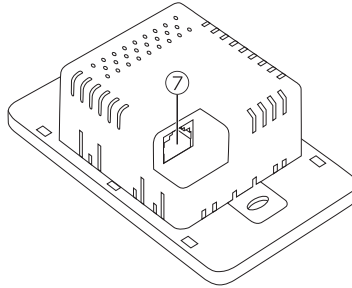


番号	名称	働き
①	LANポート	LAN側のパソコンやネットワーク機器を有線LANで接続します。
②	PWRランプ (青色) ※1	点滅: PoE給電され、本体が起動中の状態です。もしくはPDポートでデータ転送中の状態です。 点灯: PoE給電され、本体が起動完了した状態です。 消灯: PoE給電されておらず、本体の電源が切れた状態です。 ※2
③	LANポートランプ (青色) ※1	点灯: 正面のLANポートへ接続されたパソコンやネットワーク機器とリンクが確立した状態です。 点滅: 正面のLANポートにてデータ転送中の状態です。
④	2.4G WLAN ランプ (青色) ※1	無線LAN機能を使用中です。 点灯: WLANが利用可能な状態です。 点滅: WLANでデータ転送中の状態です。 消灯: WLANが無効の状態です。
⑤	5G WLAN ランプ (青色) ※1 (WAB-S1167Pのみ)	5GHz帯WLAN (11ac/n/a) の接続状況を表示します。 点灯: WLANが利用可能な状態です。 点滅: WLANでデータ転送中の状態です。 消灯: WLANが無効の状態です。
⑥	RESETボタン	このボタンを約5秒間押し続けるとPWRランプが点滅し、本製品の設定値が初期化され、工場出荷時の状態に戻ります。PWRランプが点滅しなくなるまで、電源を切らないでください。

※1 各ランプは設定により、動作状況に関わらず消灯させることも可能です。

※2 インジェクターで給電する場合は、上位 HUB と接続していないとリンクが確立せず消灯となります。

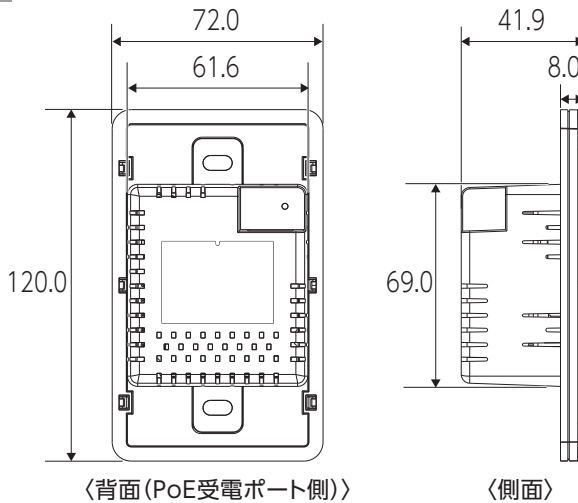
背面



番号	名称	働き
⑦	PDポート	インターネット側などの上位回線を有線LANで接続します。 IEEE802.3at/afPoE受電機能対応。

寸法図

(単位:mm)



●本製品取付穴のサイズ目安

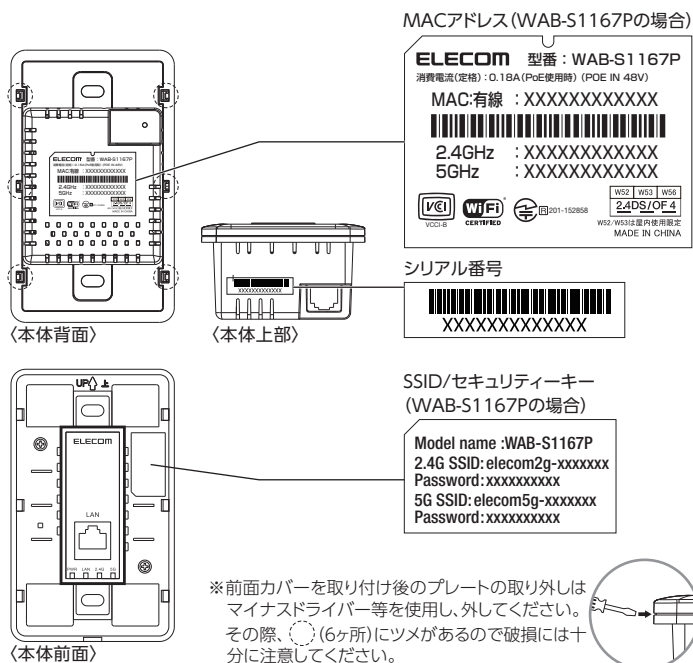
- ・ 縦 94mm (+6/-0)
- ・ 横 64mm (+6/-0)



注 意

・ 付属のネジ (32mm 長) で取付可能な壁の厚さは最大 20mm 厚です。

●ラベル貼付け位置



Chapter 2

導入編

本製品の導入方法について

本製品を接続する方法やパソコンとの接続方法については、本製品に添付の別紙「クイックセットアップガイド」などに、わかりやすい説明があります。

「クイックセットアップガイド」が見つからない場合は、エレコムホームページからもダウンロードできます。

1 本製品を設置する

適切な設置を行うため、以下の施工を完了した状態で設置を行ってください。

施工が完了していない状態の場合は、別途工事等を行ってください。



- ・ 壁に本製品を収容可能な取り付け穴の準備ができています。穴の大きさ等は、本体寸法図を参照してください。
- ・ PoE 給電可能な LAN ケーブルが配線されている。
- ・ 上位側にインターネット接続できるルーター等を設置する準備がされている。



〈本製品取付穴のサイズ目安〉

●縦94mm(+6/-0)

●横64mm(+6/-0)



注意

※本製品は PoE 受電専用機です。必ず PoE 給電機能付き HUB と接続してください。

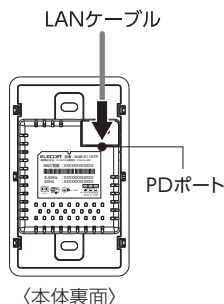
※本製品はアクセスポイントです。インターネット接続できるルーター等を上位側にご用意ください。

※インターネット接続用のルーター等を LAN 接続していない状態で本製品の設置を実施ください。本製品設置後にルーター等を LAN 接続し、インターネット接続可能であることを確認ください。

本製品を壁面に取り付ける

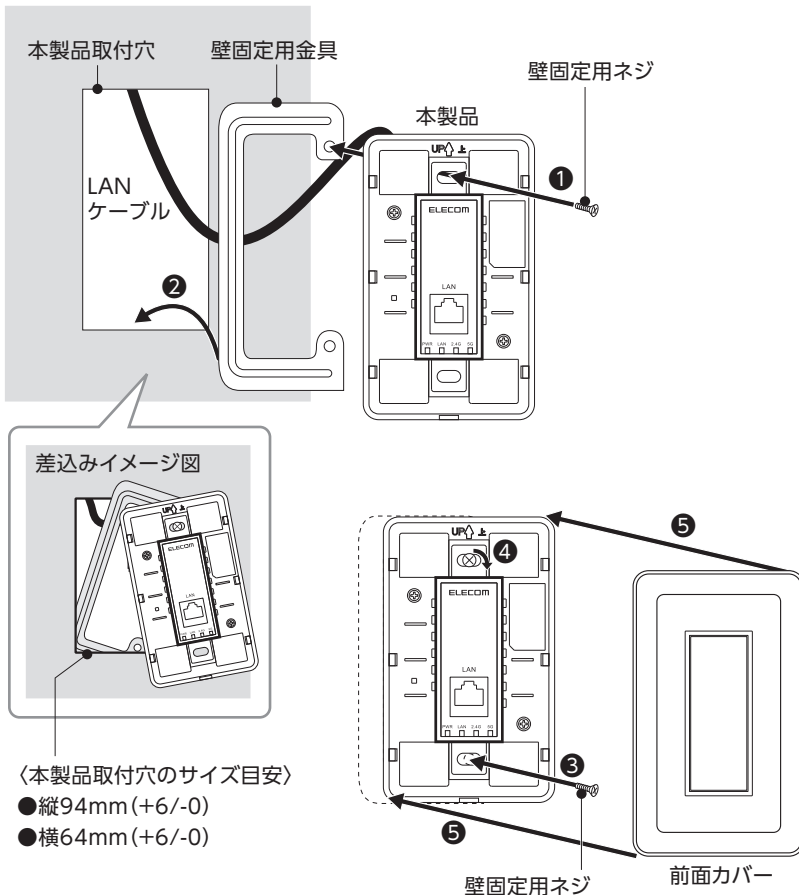
壁面への取り付けには、次の方法があります。

- 1 設置する取り付け穴に配線されたインターネット回線の LAN ケーブルを本製品背面の PD ポートに接続します。

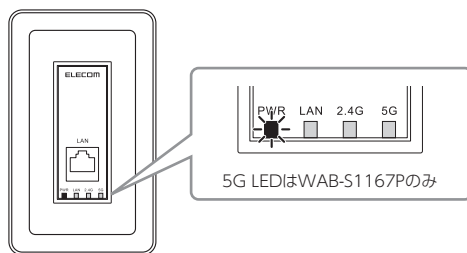


2 付属の壁固定用金具で壁に本製品を取り付けます。

- ① 壁固定用金具に本製品を壁固定用ネジ 1 本で仮止めします。
- ② 金具部分を先に取り付け穴に挿してみ、その後、金具と本体で壁を挟むように本体を挿入して、位置を調整ください。
- ③ もう 1 本の壁固定用ネジで本製品を固定用金具に固定します。
- ④ ①で仮止めしていた壁固定用ネジを確実に固定します。
- ⑤ 前面カバーを取り付けます。



3 LEDの点灯状態を確認してください。



取り付け後、本製品が外れないことを確認してください。

注 意

2 本製品と設定用パソコンを接続する

本製品の設定に使用するパソコンを接続します。
有線 LAN ポートを持つパソコンをご用意ください。

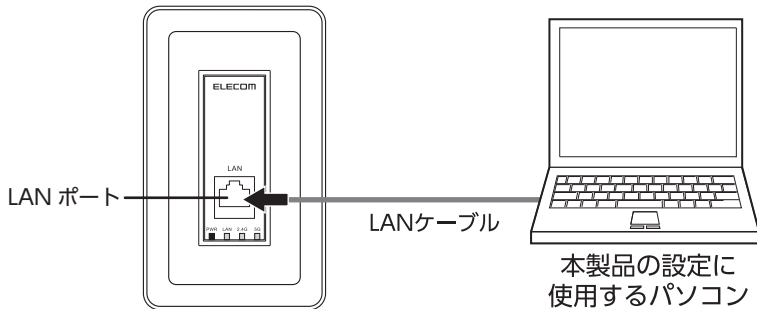


注意

- ※ PoE 給電機能付き HUB からの給電により、本製品が動作している状態で設定を行ってください。
- ※ 初回の設定はインターネット接続用のルーター等を LAN 接続していない状態で実施ください。
- ※ 本製品設置後にルーター等を LAN 接続し、インターネット接続可能であることを確認ください。

1 本製品の設定に使用するパソコンを LAN 接続します。

本製品に、設定に使用するパソコンを LAN ケーブルで接続します。



2 設定用パソコンのネットワークを設定します。

本製品の設定用パソコンのネットワークを次のように設定します。

IPアドレス	192.168.3.2
サブネットマスク	255.255.255.0



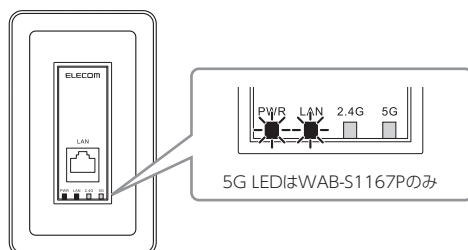
注意

- ・ 固定 IP アドレスで接続するため、本製品を他のネットワークに接続しないでください。
- ・ 本製品は、DHCP サーバーから IP アドレスを取得していない場合、IP アドレスが「192.168.3.1」に設定されます。
- ・ 本製品の無線機能と IP アドレスの工場出荷時の設定値は、次のとおりです。

無線機能	無効 (設定ユーティリティで有効にします)
IPアドレス	DHCPサーバーから自動取得

3 本製品と設定用パソコンが正しく接続されたかを確認します。

本製品の PWR ランプと LAN ポートが青色に点灯 (または点滅) していることを確認します。



- ・本製品の電源が ON になってからこの LED の状態になるまで、約 30 秒かかります。



使用するケーブルについて

- ・本製品と PoE 給電機器との接続には、必ず CAT5e 以上の 4 対 UTP を使用してください。
- ・各 LAN ポートは Auto-MDIX 機能を備えていますので、ストレートケーブルまたはクロスケーブルを使用できます。
- ・LAN 側に接続するケーブルは、100BASE-TX 用の CAT5 以上を使用してください。
10BASE-T では CAT3 以上の UTP/STP ケーブルも使用可能です。

Chapter 3

.....

詳細設定編

1 設定ユーティリティー画面について

本製品の各種機能を設定するには、パソコンから Web ブラウザーを使って、本製品の設定ユーティリティーに接続する必要があります。ここでは、簡単に本製品の設定ユーティリティーに接続する方法を説明します。



本製品に接続するパソコンの IP アドレスについて

本製品の設定ユーティリティーに接続するには、パソコンの IP アドレスが本製品の IP アドレスと同じセグメントである必要があります。パソコン側が IP アドレスを自動取得するように設定されている場合や、本製品とセグメントが異なる場合は、あらかじめパソコン側の IP アドレスを手動で割り当ててください。詳細は、[P21「2 本製品と設定用パソコンを接続する」](#)を参照してください。

本製品の IP アドレス初期値 = 192.168.3.1



注 意

- ・ 固定 IP アドレスで接続するため、本製品を他のネットワークに接続しないでください。
- ・ 本製品は、DHCP サーバーから IP アドレスを取得していない場合、IP アドレスが「192.168.3.1」に設定されます。
- ・ 本製品の無線機能と IP アドレスの工場出荷時の設定値は、次のとおりです。

無線機能	無効（設定ユーティリティーで有効にします）
IPアドレス	DHCPサーバーから自動取得

設定ユーティリティー画面を表示する

- 1 本製品に接続するパソコンで、Internet ExplorerなどのWeb ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーの [アドレス] 欄に、キーボードから「http://192.168.3.1」と入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。



- ・ 本製品の IP アドレス（初期値＝ 192.168.3.1）とパソコンの IP アドレスは、同じセグメント（192.168.3.xxx）である必要があります。
- ・ 認証画面が表示されます。



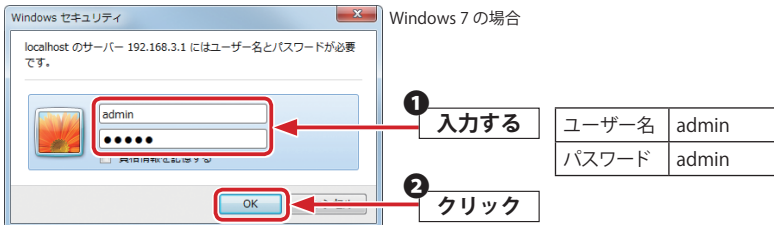
認証画面が表示されない場合

本製品の電源を入れて、約 3 分程度待ってから、パソコンの電源を入れてください。



「192.168.3.1」は、初期設定時に DHCP サーバーから IP アドレスを取得しない場合に本製品が自己設定する IP アドレスです。DHCP サーバーから IP アドレスを取得した場合やアドレス設定変更済みの場合は、その IP アドレスを入力してアクセスしてください。設定用パソコンの IP アドレスも、セグメントを合わせて設定してください。

- 3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。



- ・ 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。

4 本製品の設定ユーティリティが起動し、設定画面が表示されます。

ELECOM
» Wireless AP for Business
ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series

システム構成

無線設定

ツールボックス

システム構成

システム情報

システム情報

モデル

製品名

起動時設定ファイル

Boot-Loader Version

バージョン

MACアドレス

管理用VLAN ID

IPアドレス

デフォルトゲートウェイ

DNS

DHCPサーバー

WAB-S1167P

WAB0123456789ab

内部メモリ

1.0.1

1.0.08

01:23:45:67:89:ab

1

192.168.3.1

更新

有線LANポート	ステータス	VLANモード / ID
背面LANポート (PD)	接続 (100 Mbps全二重通信方式)	タグなしポート / 1
正面LANポート	接続 (100 Mbps全二重通信方式)	タグなしポート / 1

無線 11b/g/n

ステータス 無効

無線 11n/a/ac

ステータス 無効

更新

©COPYRIGHT 2001-2016 ELECOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.



不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします。詳細は、P48「管理者」を参照してください。

設定ユーティリティの設定画面

設定ユーティリティに接続したときに表示される設定画面について説明します。

設定画面の上部には 3 種類の設定メニューがあります。このボタンをクリックすると、画面左のメニューリストに本製品のさまざまな機能を設定できる詳細メニューが表示されます。

メニューリスト 設定メニュー

WAB Smart Series システム構成 無線設定 ツールボックス

ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

システム構成

- システム情報
- LAN側IPアドレス
- LANポート
- VLAN
- ログ
- Syslogサーバー

システム情報

システム

モデル	WAB-S1167P
製品名	WAB0123456789ab
起動時設定ファイル	内部メモリ
Boot-Loader Version	1.0.1
バージョン	1.0.08
MACアドレス	01:23:45:67:89:ab
管理用VLAN ID	1
IPアドレス	192.168.3.1 更新
デフォルトゲートウェイ	---
DNS	---
DHCPサーバー	---

有線LANポート	ステータス	VLANモード / ID
背面LANポート (PD)	接続 (100 Mbps全二重通信方式)	タグなしポート / 1
正面LANポート	接続 (100 Mbps全二重通信方式)	タグなしポート / 1

無線 11b/g/n

ステータス 無効

無線 11n/a/ac

ステータス 無効

[更新](#)

©COPYRIGHT 2001-2016 ELECOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

設定メニューの内容

ここでは設定メニューの概要を説明します。

メニュー項目	内容
システム構成	本製品の状態、有線LAN機能を設定します。 システム情報 (→P39) 、 LAN側IPアドレス (→P41) 、 LANポート (→P43) 、 VLAN (→P44) 、 ログ (→P46) 、 Syslogサーバー (→P47) があります。
無線設定	本製品へ無線接続するための機能を設定します。 基本設定 (→P29) 、 詳細設定 (→P31) 、 セキュリティ (→P36) 、 クライアント (→P33) 、 MACフィルタ (→P32) があります。
ツールボックス	本製品の管理情報の設定や表示をします。 管理者 (→P48) 、 日時 (→P50) 、 設定を保存/復元 (→P52) 、 初期化 (→P54) 、 ファームウェア更新 (→P55) 、 節電 (→P56) 、 再起動スケジュール (→P58) 、 LED設定 (→P60) 、 再起動 (→P61) 、があります。

- ・ 有線 LAN の設定をするには [LAN 側 IP アドレス \(→ P41\)](#)
- ・ 無線 LAN の設定をするには [2 無線設定 \(→ P29\)](#)
- ・ 無線 AP の基本設定をするには [基本設定 \(→ P29\)](#)
- ・ 無線 AP の詳細設定をするには [詳細設定 \(→ P31\)](#)

2

無線設定

本製品の設定画面で無線を有効にします。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。しばらくすると自動的に再起動します。引き続き他の項目の設定をしたい場合は、同様に設定の変更と、保存を行ってください。

基本設定

無線 LAN に関する基本事項を設定します。5GHz 帯 (11ac/n/a) (WAB-S1167P のみ) と 2.4GHz 帯 (11n/g/b) の 2 つの帯域を個別に設定することができます。



メニューで「無線設定」をクリックし、画面左のメニューリストから「2.4GHz 11bgn」または「5GHz 11ac 11an」の「基本設定」をクリックします。

基本設定	
2.4 GHz 基本設定	
無線	☐ 有効 ☒ 無効
無線通信モード	11b/g/n ▼
有効 SSID 数	1 ▼
SSID1	elecom2g01-xxxxxx VLAN ID 1
オートチャンネル	☐ 有効 ☒ 無効
チャンネル	Ch 11 ▼
適用 キャンセル	

● 2.4GHz 基本設定、5GHz 基本設定

無線	無線LAN機能の「有効」または「無効」を設定します。(初期値:無効) 無線通信を有効にするには、「有効」に設定します。
----	--

無線通信モード (2.4GHz)	2.4GHz帯の無線通信モードを次の中から選択します。無線LANの帯域によって設定できる項目が異なります。(初期値:11b/g/n) 11b: IEEE802.11b 規格だけを使用します。 11g: IEEE802.11g 規格だけを使用します。 11b/g: IEEE802.11b規格とIEEE802.11g規格を使用します。 11g/n: IEEE802.11g規格とIEEE802.11n規格を使用します。 11n/g/b: IEEE802.11b規格、IEEE802.11g規格、IEEE802.11n規格を使用します。
無線通信モード (5GHz)	5GHz帯の無線通信モードを次の中から選択します。無線LANの帯域によって設定できる項目が異なります。(初期値:11ac/n/a) 11a: IEEE802.11a規格だけを使用します。 11a/n: IEEE802.11a規格とIEEE802.11n規格を使用します。 11ac/n/a: IEEE802.11n規格、IEEE802.11a規格、IEEE802.11ac規格を使用します。
有効SSID数	有効にするSSIDの個数を設定します。(初期値:1 (SSID1のみ有効))  注意 SSIDの数が多くなるほど負荷がかかり、通信速度が遅くなる場合があります。 WAB-S1167P: 2.4GHz、5GHzそれぞれ5個まで設定できます。(SSID1～SSID5) WAB-S300P: 2.4GHzのみ5個まで設定できます。(SSID1～SSID5)
SSID1～5	[有効SSID数]で有効にした個数のSSIDとVLAN IDを設定します。 (SSIDの初期値:elecom"周波数帯""SSID番号"- "MACアドレスの下6桁") ※"周波数帯"は、2.4GHz:2g、5GHz:5gとなります。 例えば、"周波数帯"が2.4GHz、"SSID番号"が1、"MACアドレスの下6桁"が12:34:56のときSSIDは、「elecom2g01-123456」となります。 SSIDは初期値から変更することができます。(半角英数字および半角記号で、1～32文字まで設定できます。大文字と小文字は区別されます。) VLAN ID: 各SSIDに1～4094までの整数値で固有のVLAN IDを設定します。 (初期値:1)
オートチャンネル	オートチャンネル機能の「有効」または「無効」を設定します。(初期値:無効) 「有効」に設定すると空きチャンネルを自動検出します。  注意 ・近い周波数帯を使用した無線機器が本製品の通信速度に影響を与えることがあります。チャンネルを変更して異なる周波数帯を設定してください。 ・W53 および W56 のチャンネルでは、DFS (Dynamic Frequency Selection) 機能が有効になります。これは、気象・管制レーダー等への影響をの混信を避けるために、自動的に使用している周波数帯を変更する機能です。自動変更が発生した時に無線通信が一時停止することがあります。 ・W52 および W53 は屋外で利用できません。W56 は屋外で利用できます。
チャンネル(2.4GHz)	Ch 1～13から選択可能。(初期値:Ch 11)
チャンネル(5GHz)	Ch 36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140chから選択可能。(初期値:Ch 36)

詳細設定

無線 LAN の高度なオプション機能を設定できます。これらの設定には無線 LAN に関する十分な知識が必要です。



メニューで「無線設定」をクリックし、画面左のメニューリストから「2.4GHz 11bgn」または「5GHz 11ac 11an」の「詳細設定」をクリックします。

詳細設定

2.4 GHz 詳細設定

802.11g Protection

☒ 有効
 ☐ 無効

802.11n Protection

☒ 有効
 ☐ 無効

送信出力

100% ▼

ビーコン間隔

(40-1000 ms)

キープアライブ期間

(16-65535 秒)

適用

キャンセル

● 2.4GHz 詳細設定、5GHz 詳細設定

802.11g Protection (2.4GHzのみ)	802.11gプロテクションの「有効」または「無効」を設定します。 (初期値:有効) 802.11g プロテクションを「有効」に設定すると、11b/g 規格が混在している通信環境で、11g規格を優先します。
802.11n Protection	802.11nプロテクションの「有効」または「無効」を設定します。 (初期値:有効) 802.11n プロテクションを「有効」に設定すると、11a/b/g 規格が混在している通信環境で、11n規格を優先します。
送信出力	本製品が無線で送信するときの電波の出力強度を次の中から選択します。(初期値:100%) 「100%」、「90%」、「75%」、「50%」、「25%」、「10%」 本製品の電波の届く範囲を調整することができます。
ビーコン間隔	ビーコンフレームの送信間隔を40～1000msの範囲で設定します。 (初期値:100ms) ビーコンフレーム間隔を短くすると無線機器からの検出は早くなりますが、通信速度が低下する可能性があります。 通常は、初期値(100ms)で使用してください。
キープアライブ期間	本製品に無線機器を接続している場合、本製品が無線機器に接続されていることを確認する間隔を16～65535secの範囲で設定します。(初期値:60 秒) 通常は初期値(60秒)のまま使用してください。 0に設定すると、無線機器機器への接続確認を行いません。

MAC フィルタ

登録した MAC アドレスを持つ無線子機とのみ通信し、その他の登録されていない無線子機との接続を拒否できます。第三者の無線子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。



メニューで[無線設定]をクリックし、画面左のメニューリストから[MAC フィルタ]をクリックします。

MACフィルタ

MACアドレスを追加

追加

リセット

MACアドレスフィルタリングテーブル

MACアドレス	アクション
選択を削除 すべてを削除 バックアップ	

● MAC アドレスを追加

無線子機の MAC アドレスを入力します。入力後、

追加

をクリックしてください。

リセット

をクリックすると、入力中の MAC アドレスが消去されます。

● MAC アドレスフィルタリングテーブル

MACアドレス	本製品に無線LANでアクセスすることを許可する無線子機のMACアドレスが表示されます。最大256台まで登録が可能です。
アクション	MACアドレスを削除する場合はチェックを付け、「選択を削除」をクリックします。

● ボタンの機能

選択を削除	このボタンをクリックすると、選択したMACアドレスフィルタリングテーブルの無線子機の設定をすべて削除します。
すべてを削除	このボタンをクリックすると、MACアドレスフィルタリングテーブルの無線子機の設定をすべて削除します。
バックアップ	MACアドレスフィルタリングテーブルの内容をテキストファイルに出力します。

無線子機の登録方法

- ① [MAC アドレスを追加] に、無線子機の MAC アドレスを入力します。
複数の MAC アドレスを登録する場合は、各 MAC アドレスを ';' または改行で区切って入力してください。
- ② **追加** をクリックします。
[MAC アドレスフィルタリングテーブル] に入力した MAC アドレスが追加されます。

クライアント

本製品と通信をしている無線機器の情報が表示されます。



メニューで [無線設定] をクリックし、画面左のメニューリストから [2.4GHz 11bgn] または [5GHz 11ac 11an] の [クライアント] をクリックします。

クライアント

2.4 GHz WLANクライアントテーブル

数	SSID	MACアドレス	送信パケット	受信パケット	シグナル	接続時間	アイドルタイム
リフレッシュ							

● 2.4GHz WLAN クライアントテーブル、5 GHz WLAN クライアントテーブル

数	本製品と接続している無線機器の数が表示されます。
SSID	本製品に接続している無線機器が接続しているSSIDが表示されます。
MACアドレス	本製品と接続している無線機器のMACアドレスが表示されます。
送信パケット	本製品と接続している無線機器に送信したデータ量 (KBytes) が表示されます。
受信パケット	本製品と接続している無線機器から受信したデータ量 (KBytes) が表示されます。
シグナル (%)	本製品と接続している無線機器の信号強度 (%) が表示されます。
接続時間	本製品と接続している無線機器の連続接続時間が表示されます。
アイドルタイム	本製品と接続していた無線機器が切断されて (通信していない状態になって) から現在までの時間が表示されます。
リフレッシュ	このボタンをクリックすると、表示内容が更新されます。

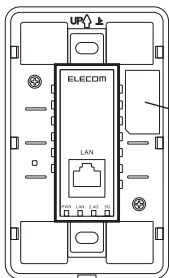
3 セキュリティを設定する(無線の暗号化)

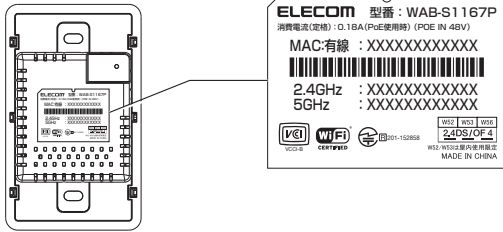
無線 LAN で使用するデータの暗号化などのセキュリティの設定方法について説明します。

●本製品で設定可能なセキュリティ機能

WPA2-PSK	基本的にWPAの技術の延長上にあり多くの共通性がありますが、暗号化プロトコルにCCMP (Counter-mode CBC-MAC Protocol)を採用し、暗号化アルゴリズムにAESを採用することでセキュリティが非常に強固になりました。WEPよりも高度な暗号化方式で、無線LANのセキュリティ機能の主流となっています。
WPA/WPA2-PSK	データの暗号化だけでなく認証機能も含まれた二重のセキュリティ機能です。WEPよりも高度な暗号化方式で、パソコンを使う無線LANのセキュリティ機能の主流となっています。 無線子機にWPA-PSKとWPA2-PSKが混在する環境の場合、この項目を選択すると両方の規格に対応できます。

●本製品のセキュリティ設定の初期値

項目	本製品の設定値(初期値)
SSID	elecom"周波数帯""SSID番号"."MACアドレスの下6桁" ※"周波数帯"は、2.4GHz:2g、5GHz:5gとなります。 例えば、"周波数帯"が2.4GHz、"SSID番号"が1、"MACアドレスの下6桁"が12:34:56のときSSIDは、「elecom2g01-123456」となります。
SSID1	認証方式: WPA2-PSK 暗号化タイプ: AES Pre-sharedキー: 機器ごと固有文字列
SSID2～5	認証方式: 認証なし 暗号化タイプ: 表示されません。 Pre-sharedキー: 表示されません。
SSID Pre-sharedキー	本体正面(前面パネルを外したところ)に貼り付けられているデバイスラベルをご覧ください。使用されている文字は半角英数字です。 ●ラベル貼付け位置  SSID/セキュリティキー (見本:WAB-S1167Pの場合) Model name :WAB-S1167P 2.4G SSID: elecom2g-xxxxxxx Password: xxxxxxxxxx 5G SSID: elecom5g-xxxxxxx Password: xxxxxxxxxx 〈本体前面〉

項目	本製品の設定値 (初期値)
MACアドレス	本体背面及び本体上部に貼り付けられているデバイスラベルをご覧ください。使用されている文字は半角英数字の大文字です。 ●ラベル貼付け位置 MACアドレス(見本:WAB-S1167Pの場合)  〈本体背面〉

セキュリティ

無線通信のセキュリティを設定します。

画面の
表示

メニューで[無線設定]をクリックし、画面左のメニューリストから[2.4GHz 11bgn]または[5GHz 11ac 11an]の[セキュリティ]をクリックします。

セキュリティ	
2.4 GHz ワイヤレスセキュリティ設定	
SSID	elecom2g01-xxxxxx ▼
ブロードキャストSSID	有効 ▼
セパレート機能	無効 ▼
接続制限台数	25 / 25
認証方式	WPA2-PSK ▼
暗号化タイプ	AES ▼
キー更新間隔	60 分
Pre-shared キータイプ	パスフレーズ ▼
Pre-shared キー	xxxxxxxxxxxx
MACアドレスフィルタ	有効 ▼
適用 キャンセル	

● 2.4GHz ワイヤレスセキュリティ設定、5GHz ワイヤレスセキュリティ設定

SSID	セキュリティを設定するSSIDを選択します。(初期値:SSID1) [無線設定] - [2.4GHz 11bgn]または[5GHz 11ac 11an]の[基本設定]で設定したSSIDのみ選択できます。
ブロードキャストSSID	無線LAN上の無線機器から本製品を検索可能にする機能の「有効」または「無効」を設定します。(初期値:有効)  注意 Windows XP (SP2) 以前の標準のワイヤレス接続機能で接続する場合は、必ず「有効」に設定してください。 有効: 無線機器を本製品に接続する場合、無線機器側で本製品を検索可能にします。ただし、無線機器側もブロードキャストSSIDを有効にする必要があります。 無効: 無線機器を本製品に接続する場合、無線機器側で本製品を検索しても見つからないようになります。無線機器側で本製品のSSIDを直接入力する必要があります。

セパレータ機能	同じSSIDに接続している無線機器間の通信制限を次の中から選択します。 (初期値:無効)  セパレータ機能は、無線機器間に対する通信制御機能です。 注 意 有効: 現在のSSIDに接続しているすべての無線機器間の通信を禁止します。 無効: 無線機器間への通信制御を行いません。
接続制限台数	各無線通信モードの最大同時接続台数を設定します。 (WAB-S1167Pの設定範囲は2.4GHzで1～25(初期値25)、5GHzで1～25(初期値25)の合計最大50台、WAB-S300Pの設定範囲は、2.4GHzのみ1～25(初期値25))  この設定は接続可能な最大数です。最大数を接続したときの通信状況は、接続無線機器の通信量や環境により影響されます。 本製品全体としての最大接続数は25台となります。 各SSIDごとの最大設定可能値は「25台」ですが、全SSIDの合計台数が25台を超える場合は、接続出来ない無線機器が出る場合があります。
認証方式	本製品へ接続された無線機器に使用する認証方式を設定します。 (初期値:WPA2-PSK ※SSID2～5は初期値:認証無し) WPA2-PSKを設定する場合は、接続する無線機器がWPA2に対応している必要があります。 WPA2-PSK: 基本的にWPAの技術の延長上にあり多くの共通性がありますが、暗号化プロトコルにCCMP (Counter-mode CBC-MAC Protocol)を採用し、暗号化アルゴリズムにAESを採用することでセキュリティが非常に強固になりました。 WEPよりも高度な暗号化方式で、無線LANのセキュリティ機能の主流となっています。 WPA/WPA2-PSK: データの暗号化だけでなく認証機能も含まれた二重のセキュリティ機能です。 WEPよりも高度な暗号化方式で、パソコンを使う無線LANのセキュリティ機能の主流となっています。 無線子機にWPA-PSKとWPA2-PSKが混在する環境の場合、この項目を選択すると両方の規格に対応できます。 認証なし: 認証方式を設定しません。
MACアドレスフィルタ	有効にすると、無線機器接続時にMACアドレスによる追加認証を行います。 (初期値:無効) 接続を許可する無線機器のMACアドレスを本製品へ登録しておき、該当する機器のみ接続を認証します。 MACアドレスの登録については、P32「MACフィルタ」を参照してください。

●認証方式の詳細

認証方式	WPA2-PSK ▼
暗号化タイプ	AES ▼
キー更新間隔	60 分
Pre-shared キータイプ	パスフレーズ ▼
Pre-shared キー	XXXXXXXXXX

認証方式	認証方式を次の中から選択します。 (初期値:WPA2-PSK ※SSID2～5は初期値:認証無し) WPA2-PSK: WPA2 (IEEE802.11i) 準拠の無線機器の認証を行います。本製品に設定したPre-shared キー(事前共有キー)を使用して接続した無線機器とのみ通信できます。 WPA/WPA2-PSK: WPA-PSK準拠の無線機器とWPA2-PSK準拠の無線機器の認証を同時に行います。本製品に設定したPre-shared キー(事前共有キー)を使用して接続した無線機器とのみ通信できます。 認証なし: 認証方式を設定しない時に選択します。この場合、暗号化も行われません。
暗号化タイプ	暗号化タイプを次の中から選択します。(初期値:AES) AES: 暗号化に強力なアルゴリズムを利用し、さらに安全性を高めた暗号通信方式です。 この暗号化方式を利用する場合は、本製品と無線機器の両方でAES/CCMプロトコルに対応している必要があります。 認証方式で「WPA2-PSK」を選択した場合、この暗号化タイプになります。 TKIP/AES Mixed mode: TKIPとAESの認証および通信を同時に行います。ブロードキャスト/マルチキャスト通信では、TKIPを使用します。 認証方式で「WPA/WPA2-PSK」を選択した場合、この暗号化タイプになります。
キー更新間隔	Pre-shared キー(事前共有キー)の更新間隔を0～9999分の範囲で設定します。 (初期値:60分)
Pre-shared キータイプ	Pre-shared キー(事前共有キー)の書式を「パスフレーズ」または「Hex(64文字)」から選択します。(初期値:パスフレーズ) パスフレーズ: 半角英数字8～63文字で入力します。 Hex(64文字): 16進数64桁で入力します。
Pre-shared キー	[Pre-shared キータイプ]で選択した書式のPre-shared キー(事前共有キー)を入力します。(初期値:機器ごとに異なる固有の文字列が設定されています。 ※SSID2～5は初期値(空白))

4 システム構成メニュー

システム情報やログの表示、有線 LAN に関する設定を行います。

システム情報

本製品のシステム情報を一覧表示します。

画面の
表示

メニューで「システム構成」をクリックし、画面左のメニューリストから「システム情報」をクリックします。

システム 情報

システム

モデル	WAB-S1167P	
製品名	WAB0123456789ab	
起動時設定ファイル	内部メモリ	
Boot-Loader Version	1.0.1	
バージョン	1.0.08	
MACアドレス	01:23:45:67:89:ab	
管理用VLAN ID	1	
IPアドレス	192.168.3.1	更新
デフォルトゲートウェイ	---	
DNS	---	
DHCPサーバー	---	

有線LANポート	ステータス	VLANモード / ID
背面LANポート (PD)	接続 (100 Mbps全二重通信方式)	タグなしポート / 1
正面LANポート	接続 (100 Mbps全二重通信方式)	タグなしポート / 1

無線 11b/g/n

ステータス

無効

無線 11n/a/ac

ステータス

無効

●システム

モデル	モデル名が表示されます。
製品名	製品名が表示されます。

起動時設定ファイル	起動時にコンフィグレーションを読み出すデバイスの情報が表示されます。
Boot-Loader Version	ファームウェアを読み込むブートローダーのバージョンが表示されます。
バージョン	ファームウェアのバージョンが表示されます。
MACアドレス	MACアドレスが表示されます。
管理用VLAN ID	管理用VLAN IDが表示されます。
IPアドレス	本製品のIPアドレスが表示されます。 更新 をクリックすると、IPアドレスを再取得します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスが表示されます。
DNS	DNSサーバーのIPアドレスが表示されます。
DHCPサーバー	DHCPサーバーのIPアドレスが表示されます。

有線LANポート	LANポートの名称が表示されます。 背面LANポート (PD)： 本製品の背面にある上位PoEハブ接続用LANポートを示します。 正面LANポート： 本製品の正面にある室内PC等接続用のLANポートを示します。
ステータス	LANポートの接続状態と通信速度が表示されます。
VLANモード/ID	LANポートのVLANモードとVLAN IDが表示されます。

●無線 11b/g/n、無線 11n/a/ac

ステータス	無線の有効/無効が表示されます。
MACアドレス	MACアドレスが表示されます。
チャンネル	チャンネルが表示されます。
送信出力	送信出力が表示されます。

設定した SSID と設定内容が表示されます。SSID を複数設定している場合、設定個数分 (WAB-S1167P：最大 10 個、WAB-S300P：最大 5 個) 表示されます。

SSID	SSIDが表示されます。
認証方法	認証方法が表示されます。
暗号化タイプ	暗号化タイプが表示されます。
VLAN ID	VLAN IDが表示されます。
セパレータ機能	セパレータ機能の設定が表示されます。

●ボタンの機能

更新	このボタンをクリックすると、システム情報を再取得します。
----	------------------------------

LAN 側 IP アドレス

有線 LAN の IP アドレスの割り当てなどについて設定します。

画面の
表示

メニューで [システム構成] をクリックし、画面左のメニューリストから [LAN 側 IP アドレス] をクリックします。

● LAN 側 IP アドレス

IPアドレス割り当て	IPアドレスの割り当て方法を次の中から選択します。 (初期値:DHCPクライアント) DHCPクライアント: DHCPサーバーからIPアドレスやサブネットマスクなどの必要な情報を自動的に割り当てます。 静的IPアドレス: IPアドレスやサブネットマスクを手動で設定します。
IPアドレス	静的IPアドレスを設定します。 (「IP アドレスの割り当て」の設定を「静的 IP アドレス」とした場合) (初期値:192.168.3.1)
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。 (「IP アドレスの割り当て」の設定を「静的 IP アドレス」とした場合) (初期値:255.255.255.0)
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイの割り当て方法を次の中から選択します。 (初期値:DHCP) DHCP: DHCPサーバーからデフォルトゲートウェイを自動的に割り当てます。 ユーザー定義: デフォルトゲートウェイを手動で設定します。 (初期値:空欄)

● DNS サーバー

プライマリアドレス	DNSサーバーのプライマリアドレスの割り当て方法を次の中から選択します。 (初期値:DHCP) DHCP: DHCPサーバーからDNSサーバーのプライマリアドレスを自動的に割り当てます。 ユーザー定義: DNSサーバーのプライマリアドレスを手動で設定します。(初期値:空欄)
セカンダリアドレス	セカンダリDNSサーバーのIPアドレスを設定します。 (「プライマリアドレス」を「ユーザー定義」に設定した場合) (初期値:空欄)

LAN ポート

本製品の Ether ポートについて設定します。



メニューで [システム構成] をクリックし、画面左のメニューリストから [LAN ポート] をクリックします。

LANポート

有線LANポートの設定

有線LANポート	有効	速度と通信方式
背面LANポート (PD)	有効 ▼	100 Mbps全二重通信方式 ▼
正面LANポート	有効 ▼	100 Mbps全二重通信方式 ▼

適用

●有線 LAN ポートの設定

有線LANポート	LANポートの名称が表示されます。 背面LANポート (PD)： 本製品の背面にある上位PoEハブ接続用LANポートを示します。 正面LANポート： 本製品の正面にある室内PC等接続用のLANポートを示します。
有効	LANポートの「有効」または「無効」を設定します。(初期値:有効) 無効に設定したポートは、通信ができなくなります。
速度と通信方式	イーサネットの通信速度と通信方式を次の中から選択します。(初期値:100Mbps 全二重通信方式) 自動： 自動的に接続先の機器とのネゴシエーションを行い、適切な通信速度の設定が設定されます。 LANケーブルを接続してもリンクしない場合など、接続先の機器を自動的に判別できない場合は、他の設定を選択してください。 10Mbps半二重通信方式： 10BASE-T、半二重 (Half Duplex) 通信方式で通信します。 10Mbps全二重通信方式： 10BASE-T、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。 100Mbps半二重通信方式： 100BASE-TX、半二重 (Half Duplex) 通信方式で通信します。 100Mbps全二重通信方式： 100BASE-TX、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。

VLAN

LAN ポートの VLAN について設定します。



メニューで[システム構成]をクリックし、画面左のメニューリストから[VLAN 設定]をクリックします。

●インターフェイス VLAN

有線LANポート	LANポートの名称が表示されます。 背面LANポート (PD)：本製品の背面にある上位PoEハブ接続用LANポートを示します。 正面LANポート：本製品の正面にある室内PC等接続用のLANポートを示します。
VLANモード	通信時に使用するVLANの設定をします。 (初期値:タグなしポート) タグなしポート：LANポートをタグなしのポートとして設定します。 設定したVLAN IDのフレームのみがこのポートへ転送されます。 タグ付きポート：LANポートをタグ付きのポートとして設定します。 ポートで送受信するすべてのフレームに IEEE802.1Q 準拠の VLAN タグが付与されます。受信したフレームをすべて転送することができます。
VLAN ID	[VLANモード]で「タグなしポート」を選択した場合に、インターフェイスVLANに関連づけるVLANのネットワークIDを1～4094の範囲で入力します。(初期値:1) VLAN IDが異なるLANポートやネットワークと通信することはできません。



[2.4GHz 11bgn] および [5GHz 11ac 11an] の [基本設定] で [無線] を「有効」に設定している帯域の VLAN 設定が SSID ごとに表示されます。

●管理用 VLAN**VLAN ID**

管理用VLANのネットワークIDを1～4094の範囲で入力します。(初期値:1)。



有線 LAN から管理用 VLAN へのアクセスできるようにするために、VLAN の設定を次のいずれかの条件に適合させてください。

- ・ いずれかの LAN ポートがタグ付きポート
- ・ 両方の LAN ポートがタグなしポートの場合は、いずれかのポートの VLAN ID が管理 VLAN ID と同じ

**注 意**

VLAN 設定を変更した場合は、操作が中断されることがあります。

ログ

有線 LAN の IP アドレスの割り当てなどについて設定します。



メニューで [システム構成] をクリックし、画面左のメニューリストから [ログ] をクリックします。

ELECOM » Wireless AP for Business ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series **システム構成** 無線設定 ツールボックス

システム構成

- システム構築
- LAN側IPアドレス
- LANポート
- VLAN
- ログ**
- Syslogサーバー

ログ

```

Jan 21 13:22:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 4844 cmd elecom-rebo
Jan 21 13:21:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 4843 cmd elecom-sche
Jan 21 13:21:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 4514 cmd elecom-rebo
Jan 21 13:21:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 4513 cmd elecom-sche
Jan 21 13:20:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 4034 cmd elecom-rebo
Jan 21 13:20:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 4028 cmd elecom-sche
Jan 21 13:19:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 3576 cmd elecom-rebo
Jan 21 13:19:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 3575 cmd elecom-sche
Jan 21 13:18:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 3109 cmd elecom-rebo
Jan 21 13:18:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 3107 cmd elecom-sche
Jan 21 13:17:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 2638 cmd elecom-rebo
Jan 21 13:17:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 2637 cmd elecom-sche
Jan 21 13:16:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 2187 cmd elecom-rebo
Jan 21 13:16:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 2186 cmd elecom-sche
Jan 21 13:15:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 1700 cmd elecom-rebo
Jan 21 13:15:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 1699 cmd elecom-sche
Jan 21 13:14:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 1256 cmd elecom-rebo
Jan 21 13:14:01 ELECOM EAP crond: USER root pid 1255 cmd elecom-sche
Jan 21 13:14:01 ELECOM EAP [ 33.500000] br-lan: port 1(eth1.1) entered f
Jan 21 13:14:00 ELECOM EAP snmptrap sendend: ColdStart
Jan 21 13:14:00 ELECOM EAP (DISMAN-SCHEDULE-MIB): At line 0 in (no
Jan 21 13:14:00 ELECOM EAP (DISMAN-EVENT-MIB): At line 0 in (none)
Jan 21 13:14:00 ELECOM EAP (NOTIFICATION-LOG-MIB): At line 0 in (non
Jan 21 13:14:00 ELECOM EAP (SNMPv2-SMI): At line 0 in (none)
Jan 21 13:14:00 ELECOM EAP (SNMPv2-MIB): At line 0 in (none)
Jan 21 13:14:00 ELECOM EAP (HOST-RESOURCES-MIB): At line 0 in (nor
Jan 21 13:14:00 ELECOM EAP (UDP-MIB): At line 0 in (none)
Jan 21 13:14:00 ELECOM EAP (TCP-MIB): At line 0 in (none)
Jan 21 13:14:00 ELECOM EAP (IF-MIB): At line 0 in (none)
Jan 21 13:14:00 ELECOM EAP (IP-MIB): At line 0 in (none)
  
```

保存 クリア 更新

●ボタンの機能

保存	表示されているログを保存します。 ファイル名は、「logmsg.log」となります。
クリア	表示されているログをすべて削除します。
更新	ログを最新の状態に更新します。



ログ情報は、一定の情報が記録されると古い情報から削除されます。

Syslog サーバー

syslog プロトコルによる転送機能について設定します。

画面の
表示

メニューで [システム構成] をクリックし、画面左のメニューリストから [Syslog サーバー] をクリックします。

The screenshot shows the web interface of an ELECOM Wireless AP for Business. The top navigation bar includes 'ELECOM', 'Wireless AP for Business', and links for 'ホーム' (Home), 'ログアウト', and a language dropdown set to 'Japan (日本語)'. Below this is a secondary navigation bar with 'WAB Smart Series', 'システム構成' (System Configuration), '無線設定' (Wireless Settings), and 'ツールボックス' (Toolbox). The left sidebar under 'システム構成' lists 'システム情報' (System Information), 'LAN側IPアドレス' (LAN Side IP Address), 'LANポート' (LAN Port), 'VLAN', 'ログ' (Log), and 'Syslogサーバー' (Syslog Server), which is currently selected. The main content area is titled 'Syslogサーバー' and contains a '転送ログ' (Transfer Log) button, a checkbox for '有効' (Enabled) next to 'Syslogサーバー', a text input field, and '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom right.

転送ログ

ログ情報転送機能を有効にする場合はチェックします。
(初期値:チェックなし)
有効に設定した場合は、SyslogサーバーのIPアドレスを入力してください。
(初期値:空欄)

5 ツールボックスメニュー

本製品の管理情報の設定や表示をします。

管理者

本製品の設定ユーティリティにログインするためのアカウントについて設定します。

画面の
表示

メニューで [ツールボックス] をクリックし、画面左のメニューリストから [管理者] をクリックします。

The screenshot shows the management interface for the ELECOM Wireless AP for Business. The 'Tools Box' menu is open, and the 'Administrator' option is selected. The 'Administrator' settings page is displayed, showing the following fields and values:

- Administrator Name:** admin
- Administrator Password:** (masked with dots)
- Detailed Settings:**
 - Product Name:** WAB0123456789ab
 - Management Protocol:** ☒ HTTP, ☒ HTTPS, ☒ SNMP
 - SNMP Version:** v1/v2c
 - SNMP Read Community:** public
 - SNMP Set Community:** private

●本製品を管理するアカウント

管理者名	設定ユーティリティのログイン時に使用するユーザー名です。(初期値:admin) 変更する場合は、半角英数字および「-」で4~16文字の範囲で設定します。 「-」はユーザー名の先頭または末尾に設定できません。 空欄は設定できません。
管理者パスワード	設定ユーティリティのログイン時に使用するパスワードです。(初期値:admin) 変更する場合は、半角英数字および記号で6~32文字の範囲で設定します。 空欄は設定できません。 [(確認)]にも同じパスワードを入力してください。



注意

セキュリティ確保のため、初期値からの変更をおすすめいたします。

●詳細設定

製品名	本製品の本体名称です。(初期値:「WAB」+有線LANのMACアドレス) この名称が、転送ログ(syslog)などで使用されます。 変更する場合は、半角英数字および「-」で1～32文字の範囲で設定します。 「-」は製品名の先頭または末尾に設定できません。 空欄は設定できません。
SNMPバージョン	SNMPプロトコルのバージョンを「v1/v2c」または「v3」から選択します。 (初期値:v1/v2c) MIBのアクセスにはコミュニティ(SNMP取得コミュニティ、SNMP設定コミュニティ、SNMPトラップコミュニティ)を使用します。
SNMP取得コミュニティ	SNMP「GETRequest」コマンドのコミュニティ名です。(初期値:public) 変更する場合は、半角英数字および記号で6～32文字の範囲で設定します。 [SNMPバージョン]で「v1/v2c」を選択した場合のみ設定できます。
SNMP設定コミュニティ	SNMP「SETRequest」コマンドのコミュニティ名です。(初期値:private) 変更する場合は、半角英数字および記号で6～32文字の範囲で設定します。 [SNMPバージョン]で「v1/v2c」を選択した場合のみ設定できます。

日時

本製品の内部時計を設定します。日付と時刻、NTP サーバー、タイムゾーンを設定できます。



注意

本製品の内部時計は、本製品の再起動、または電源が切断すると初期値に戻ります。



画面の表示

メニューで「ツールボックス」をクリックし、画面左のメニューリストから「日時設定」をクリックします。

The screenshot shows the 'Date and Time' (日時) settings page. On the left is a 'Toolbox' (ツールボックス) menu with options like 'Administrator' (管理者), 'Date and Time' (日時), 'Save/Reset Settings' (設定を保存/復元), 'Factory Reset' (初期化), 'Firmware Update' (ファームウェア更新), 'Power' (電源), 'Restart Schedule' (再起動スケジュール), 'LED Settings' (LED設定), and 'Restart' (再起動). The 'Date and Time' section is active. It includes fields for 'Current Time' (現在時刻) with dropdowns for year (2016), month (1), day (21), hour (13), minute (33), and second (49). There is a button 'Get current time from PC' (PCから現在時刻を取得する). Below is the 'NTP Time Server' (NTPタイムサーバー) section with a checkbox for 'Use NTP' (NTPを使用する) which is unchecked, a field for 'Server Name' (サーバー名), and a field for 'Update Interval' (更新間隔) set to 24 hours. The 'Time Zone' (タイムゾーン) section has a dropdown menu currently showing '(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo'. At the bottom right are 'Apply' (適用) and 'Cancel' (キャンセル) buttons.

●日付と時刻の設定

現在時刻

本製品の内部時計の日付と時刻を年月日は西暦、時刻は24時間制で設定します。設定できる範囲は、2005年から2037年です。

例) 2016年9月30日12時34分56秒

「PCから現在時刻を取得する」をクリックすると、設定ユーティリティにアクセスしているパソコンの時刻を取得し、設定します。

ご使用のパソコンによっては、取得できない場合があります。



「現在時刻」を設定すると、記録されているログは削除されます。

● NTP タイムサーバー

NTPを使用する	NTP機能を使用する場合は「有効」をチェックします。(初期値:チェックなし)
サーバー名	使用するNTPサーバーのホスト名またはIPアドレスを設定します。 (初期値:空欄) 半角英数字および「.」、「-」で1～128文字の範囲で設定します。 「.」、「-」はサーバー名の先頭または末尾に設定できません。 ホスト名を設定する場合は、DNSが設定されている必要があります。
更新間隔	NTPサーバーへの時刻確認の間隔を1～24時間(時間単位)の範囲で設定します。 (初期値:24)



NTP サーバーを正しく設定することによって、再起動または電源オン時に時計を自動的に調整することができます。

●タイムゾーン

タイムゾーン	本製品の内部時刻を設定します。 (初期値: (GMT+09:00) 大阪、札幌、東京)
--------	--

設定を保存 / 復元

本製品の現在の設定内容をパソコンに設定ファイルとして保存したり、保存した設定ファイルを本製品に復元したりします。



注意

- ・設定を復元すると、IP アドレスや無線の暗号化キーなどが設定ファイルを保存したときの設定に戻るため、本製品に接続できなくなる恐れがあります。
- ・設定ファイルの保存時と復元時の管理者パスワードが異なる場合、設定ファイルを復元すると管理者パスワードも復元されます。設定ファイルを保存したときの本製品の管理者パスワードを忘れないように注意してください。本製品の設定操作ができなくなります。
- ・復元を実行すると、復元の失敗または成功に関わらず日時が初期化されます。

画面の表示

メニューで「ツールボックス」をクリックし、画面左のメニューリストから「設定を保存 / 復元」をクリックします。

設定をバックアップ

「保存」をクリックすると、本製品の現在の設定内容を設定ファイルとして保存します。

設定ファイルには、すべてのプロファイルで設定された情報が含まれます。保存される設定ファイルの名前は次のとおりです。

「ELECOM-WBA+ (MACアドレス).cfg」

例) 例) ELECOM-WBA0090FE000006.cfg

すでに設定ファイルが存在する場合は、「ELECOM-WBA+ (MACアドレス) + (X).cfg」(Xは数字。1から1ずつ増加)となります。

例) ELECOM-WBA0090FE000006 (1).cfg

設定ファイルにパスワードを設定する場合は、「パスワードを使用して設定ファイルを暗号化します。」をチェックし、パスワードを入力します。

パスワードは、半角英数字で1～32文字の範囲で設定します。

空欄は設定できません。

※パスワードの文字列に記号を含む場合、復元が出来なくなる場合があります。

パスワードは数字とアルファベットで入力ください。

設定を復元する

復元するファイルを選択します。

をクリックすると、アップロードするファイルの選択画面が表示されます。パソコンに保存している設定ファイルを選択し、 をクリックしてください。

をクリックすると、設定ファイルを読み込み、設定内容の復元を開始します。



次の設定ファイルは、復元できません。

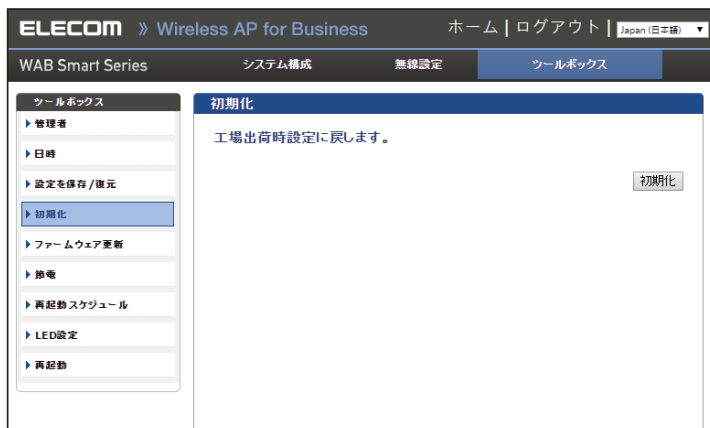
- 注 意**
- 保存した設定ファイルのファームウェアバージョンが現在の本製品のファームウェアバージョンよりも新しい場合
 - 設定ファイルが破損している場合

初期化

本製品の設定を初期化します。

画面の
表示

メニューで[ツールボックス]をクリックし、画面左のメニューリストから[初期化]をクリックします。



[初期化]をクリックすると、本製品のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

ファームウェア更新

本製品のファームウェアをアップデートします。ファームウェアをアップデートすると、機能の追加や不具合の改善などが実行されます。

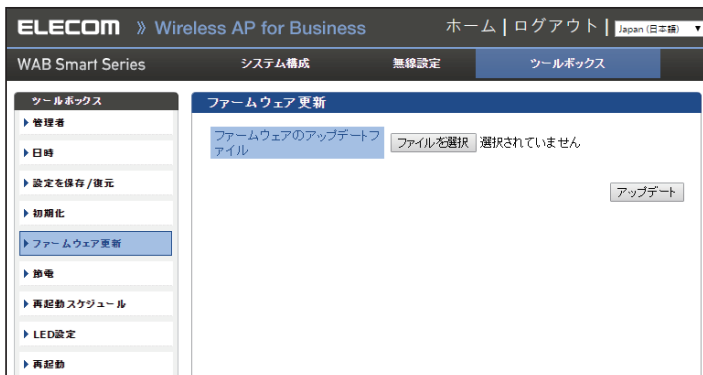


注意

- ・ファームウェア更新中は、本体のLED が点滅します。LED の点滅中は絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品の故障の原因になります。書き込みが終わると、自動的に本製品が再起動します。
- ・当社が提供するファームウェアのアップデートファイル以外は使用しないでください。
- ・ファームウェアのアップデートを実行すると、アップデートの失敗または成功に関わらず日時が初期化されます。

画面の表示

メニューで「ツールボックス」をクリックし、画面左のメニューリストから「ファームウェア更新」をクリックします。



ファームウェアのアップデートファイル

ファームウェアのアップデートファイルを選択します。

または をクリックすると、アップロードするファイルの選択画面が表示されます。パソコンに保存しているアップデートファイルを選択し、 をクリックしてください。

をクリックすると、ファームウェアのアップデートファイルを読み込み、ファームウェアの更新を開始します。



次の場合は、ファームウェアのアップデート時にエラーになります。

- 注意
- ・別機種の無線親機のアップデートファイルの場合
 - ・アップデートファイルが破損している場合



詳細な手順は、[P63「Chapter4：ファームウェア更新手順」](#)を参照ください。

節電

本製品の節電機能を設定します。スケジュールテーブルで設定した期間のみ節電機能が動作します。

画面の
表示

メニューで「ツールボックス」をクリックし、画面左のメニューリストから「節電」をクリックします。

節電	節電機能の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値:無効)
----	-------------------------------------

●ユーザー設定

WLAN (2.4G)	(初期値:チェックなし) 2.4GHz帯にチェックをすると、節電機能動作時に2.4GHz帯の無線を無効にします。
WLAN (5G)	(初期値:チェックなし) 5GHz帯にチェックをすると、節電機能動作時に5GHz帯の無線を無効にします。

●有効なスケジュールテーブル (最大 8)

曜日	節電機能が動作する曜日が表示されます。
時間	節電機能が動作する時間帯(開始時刻-終了時刻)が表示されます。
選択	ボタン操作の対象とするスケジュールをチェックします。

●ボタンの機能

追加	スケジュール設定画面に切り替わります。節電機能を動作させる日時を設定し、スケジュールテーブルに追加します。
編集	スケジュール設定画面に切り替わります。スケジュールテーブルの[選択]でチェックしたスケジュールの設定を変更できます。
選択を削除	スケジュールテーブルの[選択]でチェックしたスケジュールを削除します。
すべてを削除	スケジュールテーブルのすべてのスケジュールを削除します。

●スケジュール設定

節電

スケジュール 設定

月曜日

火曜日

水曜日

木曜日

金曜日

土曜日

日曜日

☐
☐
☐
☐
☐
☐
☐

開始時刻：

00:00 ▼

終了時間：

00:30 ▼

適用

キャンセル

節電機能を動作させる曜日をチェックし、[開始時刻]と[終了時刻]を選択します。

をクリックすると、節電画面に戻ります。

再起動スケジュール

本製品を再起動するスケジュールを設定します。

画面の
表示

メニューで[ツールボックス]をクリックし、画面左のメニューリストから[再起動スケジュール]をクリックします。

再起動	本製品を設定したスケジュールで再起動する場合は「有効」を選択してください。(初期値:無効)
-----	---

●スケジュールテーブル

曜日	再起動する曜日が表示されます。
時間	再起動する時間帯(開始時刻-終了時刻)が表示されます。
選択	ボタン操作の対象とするスケジュールをチェックします。

●ボタンの機能

追加	スケジュール設定画面に切り替わります。再起動させる日時を設定し、スケジュールテーブルに追加します。
選択を削除	スケジュールテーブルの[選択]でチェックしたスケジュールを削除します。
すべてを削除	スケジュールテーブルのすべてのスケジュールを削除します。

●スケジュール設定

再起動スケジュール

スケジュール 設定

月曜日

火曜日

水曜日

木曜日

金曜日

土曜日

日曜日

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

開始時刻 :

00:00

▼

適用

キャンセル

再起動させる曜日をチェックし、[開始時刻] を選択します。

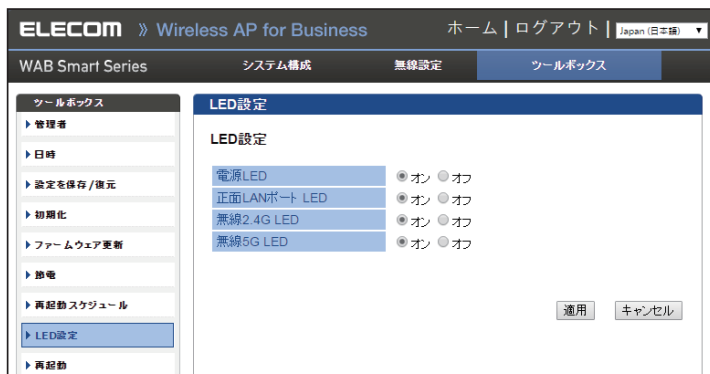
をクリックすると、再起動スケジュール画面に戻ります。

LED 設定

本製品の LED の点灯または消灯を設定します。

画面の
表示

メニューで [ツールボックス] をクリックし、画面左のメニューリストから [LED 設定] をクリックします。



● LED 設定

電源LED	PWR LED (背面LANポート (PD)) を点灯させる場合は「オン」、消灯させる場合は「オフ」を選択します。(初期値: オン)
正面LANポートLED	LAN LED (正面LANポート) を点灯させる場合は「オン」、消灯させる場合は「オフ」を選択します。(初期値: オン)
無線2.4G LED	2.4GHz LED を点灯させる場合は「オン」、消灯させる場合は「オフ」を選択します。(初期値: オン)
無線5G LED (WAB-S1167Pのみ)	5GHz LED を点灯させる場合は「オン」、消灯させる場合は「オフ」を選択します。(初期値: オン)

再起動

本製品を再起動します。



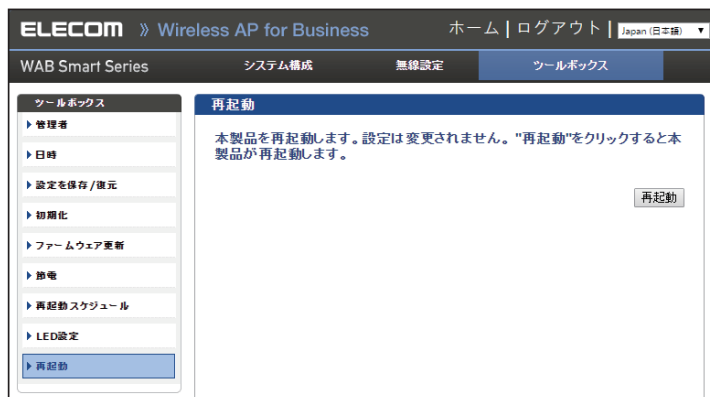
注 意

再起動を実行すると、日時が初期化されます。



画面の表示

メニューで「ツールボックス」をクリックし、画面左のメニューリストから「再起動」をクリックします。



再起動 をクリックすると、本製品を再起動します。

Chapter 4

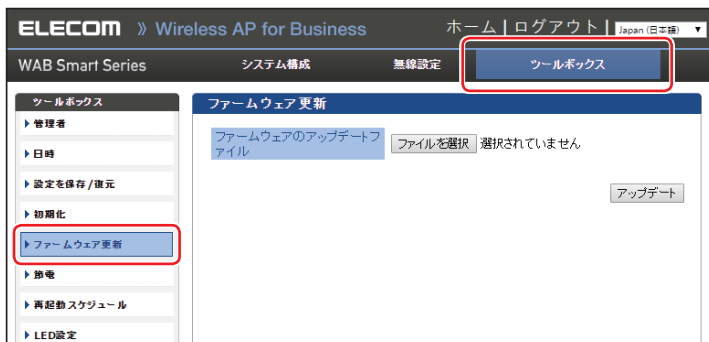
ファームウェア更新手順

1 ファームウェア更新

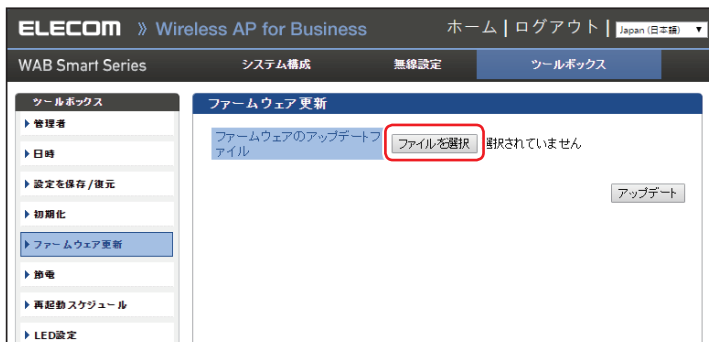
ファームウェア更新

- 1 更新するファームウェアをエレコムホームページより入手いたします
お手持ちの機種に対応したファームウェアをエレコムホームページよりダウンロードし、お客様のパソコン上に保存してください。

- 2 ファームウェア更新画面を表示します
「ツールボックス」→「ファームウェア更新」を表示します



- 3 更新するファームウェアを選択します
「参照 ...」または「ファイルを選択」をクリックします

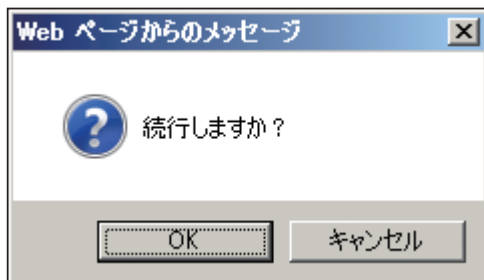


4 ファームウェアのアップデートを実施します

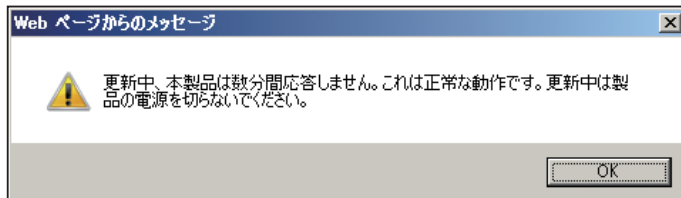
アップデートをクリックします



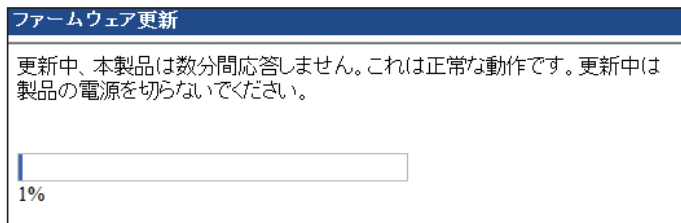
表示された画面の「OK」をクリックします



ファームウェア更新中に電源を切らないでくださいという注意画面が表示されますので「OK」をクリックします



ファームウェア更新中の画面が表示されます。完了するまでそのままお待ちください



5 ファームウェアの更新完了

セットアップが完了しましたら、自動的再起動後、システム情報画面が表示されます

ELECOM » Wireless AP for Business ホーム | ログアウト | Japan (日本語) ▼

WAB Smart Series システム構成 無線設定 ツールボックス

システム構成
▶ システム概要
▶ LAN側IPアドレス
▶ LANポート
▶ VLAN
▶ ログ
▶ Syslogサーバー

システム情報
システム
モデル WAB-S1167P
製品名 WAB0123456789ab
起動時設定ファイル 内部メモリ
Boot-Loader Version 1.0.1
バージョン 1.0.08
MACアドレス 01:23:45:67:89:ab
管理用VLAN ID 1
IPアドレス 192.168.3.1 [更新](#)
デフォルトゲートウェイ ---
DNS ---
DHCPサーバー ---

有線LANポート	ステータス	VLANモード / ID
背面LANポート (PD)	接続 (100 Mbps全二重通信方式)	タグなしポート / 1
正面LANポート	接続 (100 Mbps全二重通信方式)	タグなしポート / 1

無線 11b/g/n
[ステータス](#) 無効
無線 11n/a/ac
[ステータス](#) 無効
[更新](#)

Appendix

.....

付録編

1 基本仕様

●規格

機種	WAB-S1167P	WAB-S300P
EMI規格	VCCIクラスB	
安全規格準拠	EC61000-4	
電波法に基づく技術基準	TELEC	
相互接続認証	Wi-Fi Certified	

●無線部

機種	WAB-S1167P	WAB-S300P
準拠規格(国際規格)	<2.4GHz帯> IEEE802.11n IEEE802.11g IEEE802.11b <5GHz帯(W52/W53/W56)> IEEE802.11ac IEEE802.11n IEEE802.11a	<2.4GHz帯> IEEE802.11n IEEE802.11g IEEE802.11b
準拠規格(国内規格)	ARIB STD-T66 ARIB STD-T71	ARIB STD-T66
周波数帯域	2400 ～ 2483.5MHz 5150 ～ 5350MHz 5470 ～ 5725MHz	2400 ～ 2483.5MHz
変復調方式	802.11ac : MIMO-OFDM 802.11n : MIMO-OFDM 802.11a/g : OFDM 802.11b : DS-SS	802.11n : MIMO-OFDM 802.11g : OFDM 802.11b : DS-SS
情報偏重方式	802.11ac : BPSK, QPSK, 16QAM、 64QAM, 256QAM 802.11a/g/n : BPSK, QPSK, 16QAM、 64QAM 802.11b : DQPSK, DBPSK	802.11n/g : BPSK, QPSK, 16QAM、 64QAM 802.11b : DQPSK, DBPSK
アンテナ方式	内蔵アンテナ4本 (2.4GHz帯:送受信 2本、5GHz帯:送受信2本)	内蔵アンテナ2本 (2.4GHz帯:送受信 2本)
データ通信速度	802.11ac : MCS データレート自動切替 : 最大 867Mbps 802.11n : MCS データレート自動切替 : 最大 300Mbps 802.11a/g : 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps 自動切替 802.11b : 11/5.5/2/1Mbps 自動切替	802.11n : MCS データレート自動切替 : 最大 300Mbps 802.11g : 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps 自動切替 802.11b : 11/5.5/2/1Mbps 自動切替

チャンネル数	<2.4GHz帯> IEEE802.11n: 13 チャンネル IEEE802.11g: 13 チャンネル IEEE802.11b: 13 チャンネル <5GHz帯(W52/W53/W56)> IEEE802.11ac: 19 チャンネル IEEE802.11n: 19 チャンネル IEEE802.11a: 19 チャンネル	<2.4GHz帯> IEEE802.11n: 13 チャンネル IEEE802.11g: 13 チャンネル IEEE802.11b: 13 チャンネル
空中線電力	10mW/MHz 以下	
接続台数	最大50台(2.4GHz:25台、5GHz:25台)、 推奨25台(2.4GHzと5GHzの合計台数)	最大25台(2.4GHzのみ:25台)、 推奨25台(2.4GHzのみ)

●規格

機種	WAB-S1167P	WAB-S300P
認証方式	WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	
暗号化	WPA/WPA2:TKIP、AES	
MACアドレスフィルタリング数	256個	
サポート機能	SSID 隠蔽、無線 セパレーター、VLAN	

●管理機能

機種	WAB-S1167P	WAB-S300P
管理機能	Web UI、ロギング、設定ファイルのバックアップと復元、ファームウェア更新、Syslog、NTP クライアント、SNMP(v1/v2c/v3)、接続台数制限、節電スケジュール	

●有線部

機種	WAB-S1167P	WAB-S300P
準拠規格	IEEE 802.3:10BASE-T IEEE 802.3u:100BASE-TX IEEE 802.3at/IEEE802.3af: Power over Ethernet IEEE 802.1Q:VLAN Tagging	
データ通信速度	10Mbps/100Mbps	
ポート	10/100BASE-TX (RJ-45型8極コネクタ) × 2 ※うち1ポートはPoE受電ポート	
オートネゴシエーション	Auto MDI/MDI-X対応	

●LED

機種	WAB-S1167P	WAB-S300P
PWRランプ(青色)	点滅:PoE給電され、本体が起動中の状態です。もしくはPDポートでデータ転送中の状態です。 点灯:PoE給電され、本体が起動完了した状態です。 消灯:PoE給電されておらず、本体の電源が切れた状態です。	

LANランプ(青色)	点灯:正面LANポートへ接続されたパソコンやネットワーク機器とリンクが確立した状態です。 点滅:正面LANポートにてデータ転送中の状態です。 消灯:正面LANポートにパソコンやネットワーク機器が接続されていません。
2.4G WLAN ランプ(青色)	2.4GHz帯WLAN(11n/g/b)の接続状況を表示します。 点灯:WLANが利用可能な状態です。 点滅:WLANでデータ転送中の状態です。 消灯:WLANが無効な状態です。
5G WLAN ランプ(青色)	5GHz帯WLAN(11n/g/b)の接続状況を表示します。 点灯:WLANが利用可能な状態です。 点滅:WLANでデータ転送中の状態です。 消灯:WLANが無効な状態です。

●電源部

機種	WAB-S1167P	WAB-S300P
定格入力電圧	IEEE802.3af 37V-57V / IEEE802.3at 42.5-57V	
消費電力(定格)	8.7W	6.3W

●一般仕様

機種	WAB-S1167P	WAB-S300P
環境条件	動作時温度	0～50℃
	動作時湿度	10～90% (結露なきこと)
	保管時温度	-20～60℃
	保管時湿度	95%以下 (結露なきこと)
外形寸法	幅72mm×奥行42mm×高さ120mm	
質量	約130g (本体のみ)	約120g (本体のみ)
パッケージ内容	製品本体1台、壁取付用金具1枚(ネジ2個)、フェースプレート2枚(穴あり/なし1枚ずつ)、マニュアル1枚(クイックセットアップガイド)、シリアルシール2枚	

2

SSID/Pre-shared キーに使用できる文字

以下の数字・アルファベット・記号の文字を、SSID/Pre-sharedキーの文字列として利用することができます。

文字は半角文字で入力ください。全角文字は利用できません。

数字 (0～9全て)	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
アルファベット (小文字a～z、大文字A～Z全て)	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
記号wwwwww	!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\\]^_`{ }~ (スペース) 注: (スペース)は最初の文字または最後の文字として利用できません。



無線LANアクセスポイント
WAB-S1167P / WAB-S300P
ユーザーズマニュアル

発行 **エレコム株式会社** 2016年3月16日 第1版

©2016 ELECOM Co.,Ltd. All rights reserved.